



6月 いのちについて考える

校長 菱田 千晶

5月末、運動会を無事に終え、気が付けば季節は梅雨へと移りました。運動会では、保護者、地域の皆様にたくさん応援をいただきまして、ありがとうございました。大きな学校行事を終えて、生徒はまた一歩成長することができたことと思います。

6月に入ると、生徒は17日（水）から3日間の期末考査に向けて、気持ちを切り替えて勉強に取り組みました。1年生にとっては、初めての期末考査でした。「なぜ?」「どうして?」と、常に疑問点を解決しようと、前向きに学習する姿が各教室で見られました。

そのような中、6月には全学年で「いのちの教育」の授業も行いました。杉並区では、いじめ等の問題行動の現状や生徒の心の健康について示された「自殺対策基本法」の施行を受けて、5月・6月、9月・10月を「いのちの教育月間」とし、生命の大切さや人生のかけがえのなさを実感する「特別の教科 道徳」の授業を実施します。

1学年では、教科書にある「ばあば」という題材を取り上げ、生命の尊さについて考えさせる授業を行いました。

3学年では、修学旅行で神戸を訪れ、「人と防災未来センター」で阪神淡路大震災について学んできたことを受けて、災害から学びいのちについて考えました。また、教科書にある「くちびるに歌をもて」では、いのちを大切に生き抜く力についても取り組みました。

そして、2学年では「戦争を取材する」という題材から、一人のジャーナリストが命がけで取材をすることの意義や、世界で起きている戦争に目を向け、たくさんのいのちが亡くなっていることを知ることで、自分たちに何ができるかについて考えました。

教科書に取り上げられている「戦争を取材する」は、日本人ジャーナリスト、山本美香さんによって書かれた本です。本校の図書館にも置いてあります。山本さんは、2012年（平成24年）8月、内戦が続くシリアのアレッポで取材中にいのちを落としました。



戦場特派員として活動していた山本さんは、ビデオカメラを手に紛争地や被災地に飛び込み、女性や子どもなど、弱い立場におかれている人々の存在を世界に伝える仕事をしていました。私は、以前、山本さんの半生がテレビで取り上げられていた様子を見たことがあります。戦地で、必死に取材をしていた山本さんがいのちを落とすことになった様子を見て、悲しさと憤りと恐ろしさを覚えました。

今回の授業では、戦場取材を始めたばかりの山本さんの葛藤が書かれた内容を読みました。

「自分のしている仕事がいかに意味のあることなのか。」

現地の診療所で働く医師や看護師が、怪我をした人々のために必死に働き活躍する姿を見て、ジャーナリストの自分の存在が小さなものと感じたそうです。しかし、4歳の息子を栄養失調で亡くした父親に、「こんな遠くまで来てくれてありがとう。世界中の誰も私たちのことなど知らないと思っていた。」と声を掛けられ、山本さんは、自分がこの場所に来たことに意味があるのだと気付きます。

「医者には医者の、ジャーナリストにはジャーナリストの役目がある。医者は目の前で苦しんでいる人を救い、ジャーナリストは彼らの存在を世界に伝えることで、どうしたら救うことができるか、考えるきっかけをつくっていく。それぞれの役目を果たしていくことで、少しずつ、でも確実に平和な世界が広がっていくでしょう。私はそう信じています。」私は、いのちをかけて、このメッセージを送り続けた山本さんの言葉に心を打たれました。

生徒が班で考えた意見に、

「当たり前のように生活している今を大切に受け止めて、生きていることに感謝をする」

「毎日を無駄にしないで生きる」

「実際に現地にいくことはできないけれど、一人でも多くのいのちを救うために募金をする」などがありました。

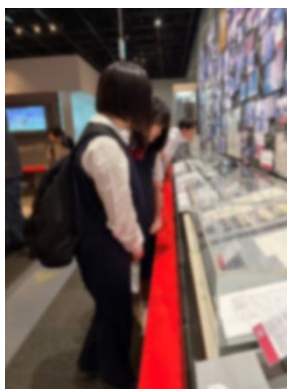
いのちについて考えて、行動する糧となるような授業を、今後も実践していきたいと思います。

第3学年 修学旅行

5月13日、京都・奈良方面に向かって3年生が修学旅行に出発しました。初日は法隆寺コース・東大寺コースに分かれて班ごとに奈良の街を散策しました。世界最古の木造建築物である法隆寺や高さ15mもある奈良の大仏に迎えられ、歴史・文化と調和した街づくりについて見聞を深めました。2日目は1日かけて京都・大阪方面を見学し、夕食は神戸港発のディナークルーズに参加しました。



3日目は阪神・淡路大震災の経験を語り継ぐ人と防災未来センターに行きました。今年度の修学旅行は歴史・文化の学習だけでなく、防災についても学習し自然災害への備えや減災の知恵を学びました。体験型の学習も多く、具体的な行動や知識を身に付けることができました。



令和 8 年度 運 動 会

5月30日、朝から放送の音や吹奏楽部の演奏練習、生徒たちのやる気に満ちた声が響き、運動会がスタートしました。今年は1年生が3クラスになり、縦割りの種目はなくなりましたが、代わりに学年種目や全員リレーの練習に時間を使い、学級ごとに団結が深まった運動会となりました。スローガンは「百花繚乱」、生徒一人ひとりの様々な個性が色鮮やかに咲き誇りました。



運動会実行委員 (◎委員長 ○副委員長)

3 A ◎ [redacted]、[redacted]、[redacted]

3 B ○ [redacted]、[redacted]、[redacted]

2 A ○ [redacted]、[redacted] 2 B [redacted]、[redacted]

1 A [redacted]、[redacted] 1 B [redacted]、[redacted]

1 C [redacted]、[redacted]

当日だけでなく運動会の成功に向けて頑張りました。

敬称略



あいさつ運動 5月21・22日(杉三小) 6月4・5日(杉十小)

杉三小、杉十小の児童たちと合同であいさつ運動に取り組みました。生徒会役員と規律委員の生徒たちは朝から小学校に向かい、大きな声で小学生にあいさつを行いました。久しぶりに会う小学生や小学校の先生たちに笑顔で迎えられ、高南中の生徒にも笑顔があふれていました。



第1回高南祭実行委員会 6月4日

9月12日に行われる高南祭に向けて、高南地区の地域教育連絡協議会の方々と各学年から立候補した20名の高南祭実行委員の生徒たちによる第1回目の話し合いが行われました。

高南祭は毎年生徒たちの企画によりイベントや各種コーナーを決めています。今回は実際に行う企画案やスローガンを決めました。今年のスローガンは「三度の飯より高南祭」今後はステージ参加者の募集や各種コーナーの作成をしていきます。生徒・地域の皆さん、奮ってご参加ください。



学校朝礼・いじめ防止授業 6月8日

6月の学校朝礼では堀ノ内東児童館の方に来ていただき、中高生委員会について説明をしていただきました。地域に貢献している中高生委員に高南中生もぜひ参加してほしいです。

1時間目には弁護士会の方によるいじめ防止授業が行われました。法的な根拠に基づき、いじめが相手の人権を奪う行為であることを学び、相手を敬う気持ちを学習しました。



第1学年 探究学習 6月8日



本校CS委員の谷村一成先生を講師としてお呼びし、第2回目の探究学習を行いました。今回は大学生のボランティアスタッフにも協力してもらい、「面白い」をテーマとした探究の種を探しに校外へ出かけました。蚕糸の森や和田地区を散策しながら自分にとって興味がありそうなものを見つけるとタブレットで写真を撮り、画像を使って面白いと思ったことは何なのか、今後探究を行うとしたら何について調べていくのかなどをまとめていきました。難しい作業でしたが、大学生や先生たちにアドバイスをもらいながら頑張りました。

